

まちの財政状況 平成28年度決算

壮瞥町では、町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金、町債（借入金）などを財源として、さまざまな事業を実施しました。
平成29年第3回定例議会において、平成28年度決算が認定されましたので、決算の概要についてお知らせします。

歳出総額は 52億8,915万4千円（※一般会計・特別会計合計）
前年度比1.5%の減（8,177万5千円減）

●一般会計

歳入決算額 42億3,919万円（前年度比2.6%の減）

歳入総額は42億3,919万円で、前年度と比較すると1億1,409万円の減額となりました。

主な減少要因としては、町債で過疎対策事業債や学校教育施設等整備事業債の減少、諸収入で地熱資源開発調査事業費助成金の減少が挙げられます。

また、地方交付税と地方交付税の実質的な振替財源である臨時財政対策債の総額は、前年度と比べて1億2,209万円減の19億1,001万円となりました。

一方、町の貯金にあたる基金のうち、財政調整基金の繰入（取崩）は、前年度と比べて2億136万円増の2億5,131万円となりました。

（単位：千円）

区 分	平成27年度		平成28年度		比較増減 ②-①
	総額 ①	構成比	総額 ②	構成比	
町税	414,095	9.5%	412,508	9.7%	▲ 1,587
地方交付税	1,915,832	44.0%	1,826,652	43.1%	▲ 89,180
国・道支出金	700,115	16.1%	843,698	19.9%	▲ 143,583
町債	449,262	10.3%	277,554	6.5%	▲ 171,708
繰入金	104,575	2.4%	293,611	6.9%	▲ 189,036
その他	769,399	17.7%	585,169	13.8%	▲ 184,230
歳入合計	4,353,278	100.0%	4,239,192	100.0%	▲ 114,086

※百分率の算出にあたっては、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位表示としているため、その和は必ずしも100%に一致しない。

歳出決算額 40億9,329万円（前年度比2.9%の減）

歳出総額は、40億9,329万円で、前年度と比較すると1億2,234万円の減額となりました。

性質別に前年度と比較すると、投資的経費は農村環境改善センターの改修や保健センターの改修等を行いました。また、蟠溪地域地熱資源開発調査委託費や子育て応援住宅整備事業費が減少したことなどにより、9,691万円の減額となりました。

また、物件費では防災備蓄品購入費の減少等により、前年度と比べて3,271万円の減額、公債費では借入額が大きい平成15年度過疎対策事業債（借入額：4億2,680万円）の償還を前年度に終えたことなどにより、前年度と比べて2,761万円の減額となりました。

（単位：千円）

区 分	平成27年度		平成28年度		比較増減 ②-①
	総額 ①	構成比	総額 ②	構成比	
人件費	698,667	16.6%	691,163	16.9%	▲ 7,504
物件費	581,080	13.8%	548,369	13.4%	▲ 32,711
維持補修費	77,324	1.8%	87,395	2.1%	▲ 10,071
補助費等	481,032	11.4%	458,503	11.2%	▲ 22,529
投資的経費	1,107,511	26.3%	1,010,601	24.7%	▲ 96,910
公債費	555,726	13.2%	528,118	12.9%	▲ 27,608
繰出金	372,680	8.8%	363,947	8.9%	▲ 8,733
扶助費等	341,611	8.1%	405,194	9.9%	▲ 63,583
歳出合計	4,215,631	100.0%	4,093,290	100.0%	▲ 122,341

●特別会計の決算

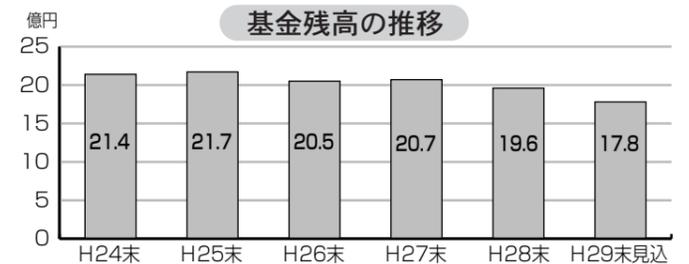
（単位：千円）

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	476,341	466,118	10,223
後期高齢者医療	44,104	43,288	816
介護保険	356,873	340,494	16,379
簡易水道事業	135,840	135,490	350
集落排水事業	210,809	210,474	335

●基金残高の状況（※基金は家庭での貯金にあたるものです）

特定目的基金の国際交流基金や国鉄胆振線代替基金等では、例年どおり各事業にかかる経費分の繰入を行いました。また、財政調整基金では、2億5,131万円を繰り入れましたが、前年度からの繰越金を含め、1億2,803万円を積み立てたことにより、最終的には前年度に比べて1億2,329万円の減となりました。その他、28年度からはふるさと応援基金を設置し、4,425万円を積み立てて既存の事業に843万円を充当しています。基金全体としては、前年度末に比べて1億1,173万円の減（前年度比5.4%の減）となりました。

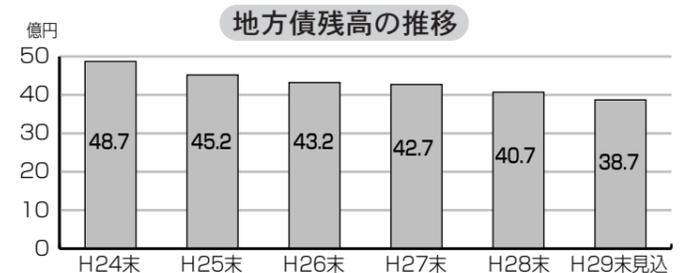
区 分	平成28年度末
財政調整基金	5億4,821万円
減債基金	5,188万円
国際交流基金	3億5,915万円
国鉄胆振線代替基金	1億1,640万円
その他特定目的基金	4億4,269万円
備荒資金組合納付金	4億4,356万円
合 計	19億6,189万円



●地方債残高の状況（※地方債は家庭での借金にあたるものです）

地方債残高は40億6,614万円となり、前年度末に比べて2億258万円の減（前年度比4.7%の減）となりました。平成21年度をもって大型事業が終了し、以降の地方債の発行を抑えたこともあり、地方債残高は減少傾向にあります。

区 分	平成28年度末
公営住宅建設事業債	9億4,144万円
過疎対策事業債	13億4,249万円
臨時財政対策債	13億8,048万円
その他	4億173万円
合 計	40億6,614万円



●平成28年度決算に基づく健全化判断比率等の公表について

健全化判断比率とは、まちの財政状況の健全度を示す指標で、毎年度の決算について、その比率を議会に報告するとともに、公表することが義務づけられています。

本町の平成28年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業の資金不足比率をお知らせします。

健全化判断比率

健全化判断比率	壮瞥町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—※	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—※	20.0%	30.0%
実質公債費比率	12.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	4.7%	350.0%	

※「—」は、赤字額がないことを表しています。

資金不足比率

資金不足比率	壮瞥町	早期健全化基準
簡易水道事業特別会計	—※	20.0%
集落排水事業特別会計	—※	20.0%

※「—」は、資金不足がないことを表しています。